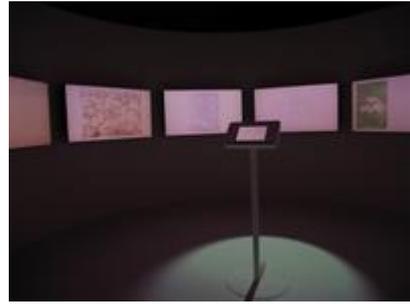


☆「日本の色を体で感じる」(カフレ スレヤ)

私はパナソニックセンター東京で行われた特別企画展の「文化のちから」の取材体験をしてみて、普段の生活ではできない発見や日本の文化の深さを改めて体で感じる事ができた。

展示を見る前に、入り口のところで和風な音と周りの色で一瞬で別世界に入り込めたような気がした。そして展示を見始めて、日本人の昔からの感性と表現力の豊かさを「色」から感じた。

文化のちからの「日本の色」展示では、最新技術を使用して、空間を映像で伝統色に染め、色を体で感じる事ができた。16色の中から音声認識技術で自分で一色選ぶことが出来て、展示の空間は一瞬でその色に染まりとてもわかりやすかった。私は「なでしこ色(撫子色)」がとても明るく、一番「春」を感じる事ができた。



さらに「装う」のコーナーでは四季や行事、場面に応じた生地や色など、和装の基本的なルールを白い着物にプロジェクションマッピングで写してわかりやすい展示だった。このコーナーでも伝統色の使っても美しかったと、今考えると思う。

今回の「文化のちから」は紋や室礼、その他歌舞伎などを最新技術を使い、子供達やお年寄りなど、どの世代にもわかりやすい展示で楽しむことができましたと思います。2020年のオリンピックも近く、私たち若い世代は、日本の文化をいろいろな人たちに伝える役目を持っていると思います。その役目をしっかり果たせるよう、これからも積極的にこういうイベントに参加したいと思います。